

第2回 六実中央公園 ワークショップニュース



日時：令和5年10月22日（日）13:00～16:00
 場所：六実市民センター 別館3階 コミュニティ会議室1
 出席者：30名（内 市4名、コンサルタント5名）

このたびは「六実中央公園」の再整備を考えるワークショップにご参加・ご協力いただきありがとうございます。
 第2回は、まず全体で前回の結果（課題と提案）を確認し、意見が反映された計画平面図案の内容を説明し、イメージを共有した後、4つのグループに分かれ、前回出た意見に関して**優先順位**を考えてから、計画平面図をたたき台として、白図に整備方針を書き込んで**計画プラン**を作成しました。4つのグループでそれぞれプランができました。以下にその概要をまとめましたのでご覧ください。

ワークショップってなに？



ワークショップとは、参加者が自らの考えや思いを語り、相互の意見などの中から何かを学びあったり創り出したりする場所のことです。
 公園のワークショップでは、地域の方々の意見・思いを出し合い、皆さんで共有し、将来に向けた公園像を創りあげて行く場となります。

ワークショップの主な流れ

①前回、各グループで意見交換した内容を確認しました。



②前回の意見を反映させた「計画平面図（A案・B案）」を説明しました。



③グループ毎に、前回の意見に関して「導入希望度」を高/中/低の三段階に振り分けた後、白図に整備方針を書き込みました。



④グループ毎に、話し合った内容について発表を行いました。



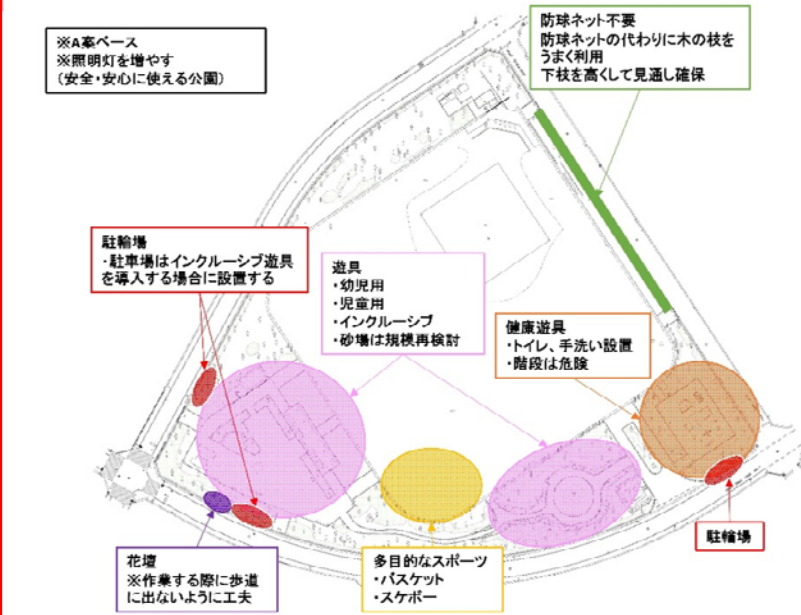
ワークショップのまとめ

導入希望度（高/中/低）が各グループで共通する意見、分かれた意見をまとめました。

各グループの成果

前回のワークショップで出た全ての意見について優先順位を付けて選別し、配置をイメージしながら計画プランを作成しました。白図に描いてもらった内容及び発表内容を基に、各グループの計画プランとポイントを整理して以下に示します。

赤グループ いざというときに頼れるだれでも利用できる安全な公園

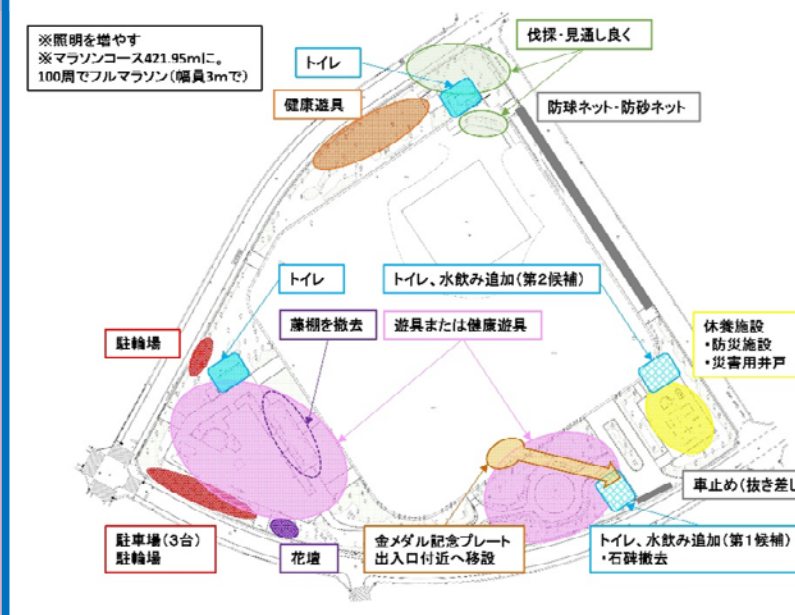


ポイント

- ◆ 健康器遊具の近くにトイレと手洗い場を設置したい。
- ◆ 色々なスポーツを楽しみたい。
- ◆ 園路はメンテナンスも考慮して土系舗装が良い。
- ◆ 既存の木をうまく管理してボールの飛び出しを防ぐ。



青グループ 安心安全に集える公園

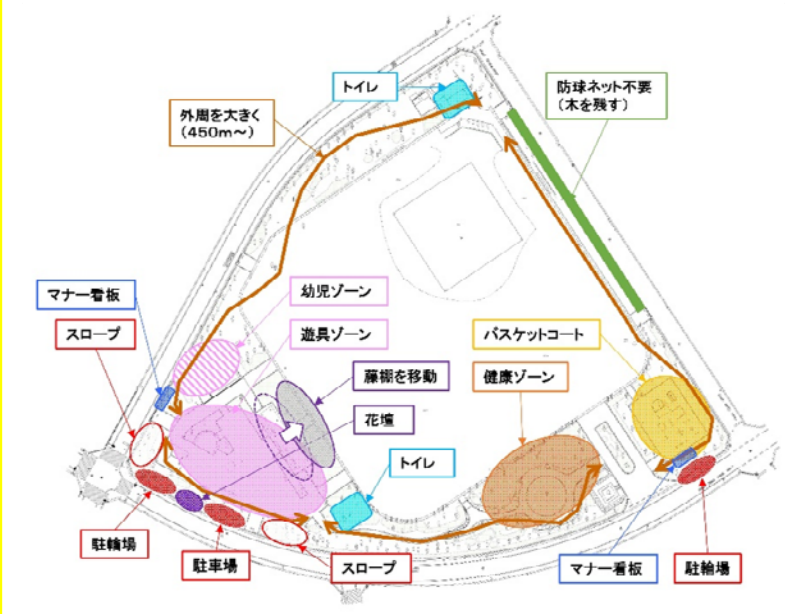


ポイント

- ◆ 南東エリアにトイレと水飲みを増設したい
- ◆ 園路幅は3mで、1周421.92mにしたい（100周でフルマラソンの距離）
- ◆ 樹木を整理して空いたスペースに健康遊具を配置したい（レベルを分けたい）。



黄グループ 小さな子どもから高齢者まで様々な世代がとどえる広場

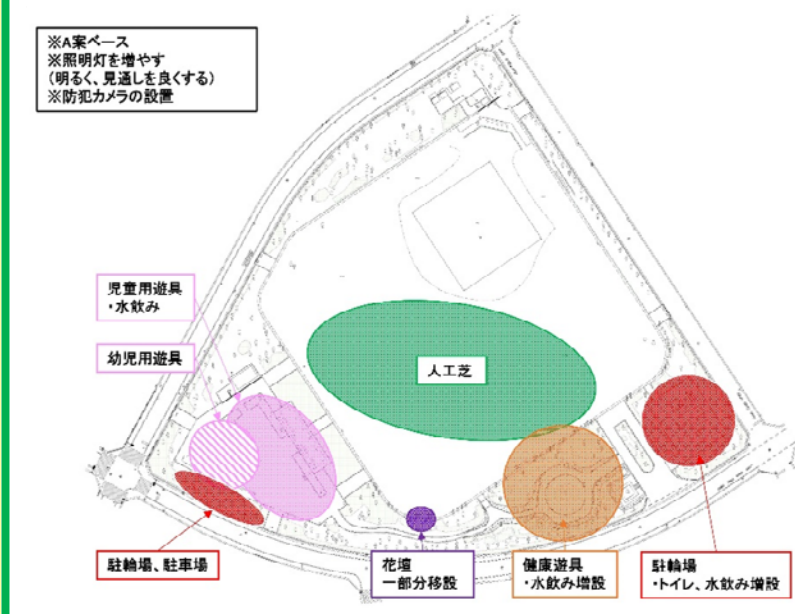


ポイント

- ◆ 防災施設よりも公園施設の充実を優先させたい。
- ◆ 外周園路は大外を回して距離を長くさせたい。（1周500mにできれば2周で1kmとなり分かりやすい）
- ◆ 藤棚をグラウンド側に移動して遊具ゾーンを広くしたい。



緑グループ 誰もが楽しめる公園



ポイント

- ◆ 南東エリアに駐輪場を広くとり、トイレと水飲みを設置したい。
- ◆ 遊具エリアは児童用と幼児用に分けたい。
- ◆ 外野部分は人工芝にしたい
- ◆ 植栽は適度に伐採や剪定をしてほしい。



「高」が多く共通する意見：駐輪場。ベンチ・パーゴラの更新。日陰・雨除け施設。公園のツボルとなる遊具。インクルーシブ遊具。ありきたりじゃない遊具。バリアフリーへ更新。出入口のバリアフリー化。園路幅員を広く。バリアフリー対応の園路。花壇の見直し。見通しが良くなるように植栽管理。照明の増設。防犯カメラの設置。

「低」が共通する意見：足踏み施設に屋根設置。ゴミ箱。水遊び施設。雷避けの施設。防火対策。喫煙所。施設を増やさずツボルに。

「高/中/低」が分かれた意見：藤棚更新。防球ネット。砂場改善（安全柵）。砂場に柵設置。遊具ゾーンのレベルを下げる。ウォーキングコースのゴムチップ舗装。園路の距離表示。防災関連施設。植栽はできるだけ残す。樹名板。藤棚前の低木を撤去してベンチ設置。土地区画整理記念碑を改修。スケートボード施設。グラウンドの人工芝化。

【次回開催予定】 六実中央公園 第3回ワークショップ
 ◆ 日時：令和5年11月19日（日）13:00～16:00
 ◆ 会場：六実市民センター別館3階 コミュニティ会議室1
 ◆ 内容：計画の方針固め、ワークショッププランにまとめる

【お問い合わせ】 松戸市公園緑地課
 Tel.047-366-7380 担当：戸津・須崎

